



遠くにエッフェル塔が見えるハズ?

私達4年生は1週間ドイツ・ベルギー・フランスの3カ国に研修旅行で行ってきました。どの国も印象に残る事はありましたが、最終日のパリでの自由行動は特に思い出に残っています。早く帰りたい、開いているお店が少なかったのですが、街並みがすごくキレイで、前日の夜にバスで見た景色とはまた違った雰囲気でした。道に迷いながら2時間かけてデパートに着きました。1893年に



Galeries Lafayetteの店内にあるクリスマス・ツリー

私達4年生は1週間ドイツ・ベルギー・フランスの3カ国に研修旅行で行ってきました。どの国も印象に残る事はありましたが、最終日のパリでの自由行動は特に思い出に残っています。早く帰りたい、開いているお店が少なかったのですが、街並みがすごくキレイで、前日の夜にバスで見た景色とはまた違った雰囲気でした。道に迷いながら2時間かけてデパートに着きました。1893年に

欧州研修 一級自動車科 4年

最終日は1日自由行動で、自分達が決めた場所に自分達で行くという日本では簡単な事ですが、日本語が通じない中、電車の切符を買うのも一苦労でした。私達はシャゼリーゼ通りを楽しみながら、オスマン通りにあるパリ最大のデパート「Galeries Lafayette」に行く予定でした。シャゼリーゼ通りは朝早くから開いているお店が少なかったのですが、街並みがすごくキレイで、前日の夜にバスで見た景色とはまた違った雰囲気でした。道に迷いながら2時間かけてデパートに着きました。1893年に

1級自動車科
竹添 佑香

世界で最初に出来た百貨店だけあって、外観も内観も豪華で、会話に苦戦する事もありましたが、すごく充実した1日でした。1週間あつという間、で本当に楽しい思い出しかなく、自分にとって最高の思い出が出来て良かったです。

私達はシャゼリーゼ通りを楽しみながら、オスマン通りにあるパリ最大のデパート「Galeries Lafayette」に行く予定でした。シャゼリーゼ通りは朝早くから開いているお店が少なかったのですが、街並みがすごくキレイで、前日の夜にバスで見た景色とはまた違った雰囲気でした。道に迷いながら2時間かけてデパートに着きました。1893年に

私はトヨタ自動車に就職予定しており、将来TMEで働く可能性を見ることが出来ました。興味深い話が沢山聞けました。施設の中も見学させて頂き、高度な故障診断に使用する機器や、珍しい機器を見る事が出来ました。

今回の研修旅行は、どれも心に残る大切な思い出になりました。1級自動車科
柴田 利憲



メルセデスベンツ博物館にて 本人右から3人目



TME (トヨタ モーター ヨーロッパ) 前で

「被災地に車を届ける会」 ～八王子～

震災が起きた時、自分は学校で授業を受けていました。今まで経験したほどの揺れよりも大きいものでした。寮に帰ってテレビでニュースを見た時、車や家が津波に流されている映像が流れていました。その映像を



見て改めて今回の地震の規模がとんでもなく大きいものだという事を思い知りました。東北での被害が大きいことを知り、東北出身の自分が何かできることはないかと思っていた時に、この「被災地に車を届ける会」を知り、参加してみようと思いました。



「被災地に自動車を届ける会」八王子にある「クラシックカー実行委員会」が発端の活動。被災者に車を無償で届ける等を行っている。今後も継続的に活動予定。

都会と違い車が無いと生活も大きく変わってきたりします。自分たちが整備した車が相手に送られ、それがその人の何かに役立つ手助けになってほしいと思います。今回の体験をきっかけにして被災地支援のためのボランティア活動に関わっていきたいと思いました。

自動車整備科 吉田 朋弘

LETTER'S From 卒業生 専門科22期生 (平成6年卒) 岩下 大地さん

私は小田急線町田駅西口近くで飲食店を経営しており、4年前に良質なカキの産地である岩手県大船渡市赤崎町で勉強させていだきました。大船渡市は3月11日の津波で大きな被害を受け、町の中心部は壊滅し、かなりの方が家や会社を失いました。



今回の学園祭での売り上げ金を役立たせて、仮設住宅で正月を迎える方々に少しでも気持ちの良い正月を過ごしていただき、来年こそは良い年になってもらいたいと思っています。東日本大震災 被災地支援

全国技能コンクール見学 ポデークラフト科・ハイブリッドEV科

研修旅行で全国ネットワーク第29回サーブス技術コンクールを見学しました。私は、配られたパンフレットの中で、一人の板金のメカニックに興味を惹かれました。その方は私と同じようにアガリ症だそうで、他人事とは思えなかつたからです。観客席から見ていると、本場に緊張している様子で、作業ができていない状態ではなさそうに見えました。ところが、「作業開始」のアナウンスと同時に震えはとまっており、まるで別人でした。



私達は、早く作業を行うと手順を省略したり、乱雑に作業してしまいがちですが、プロは違いました。一つ一つの作業が的確で、作業姿勢も美しく、常に次のことを考えて行動し作業の合間に、清掃までしてムダに時間を使っている事と、なんと、と痛感させられました。私もいつかあのような舞台上に立てるようにしたい。否「あの舞台上に立ちます」ハイブリッド・EV科
富田 真規

日本EVフェスティバル ～ハイブリッドEV科 自動車研究部～

11月3日、日本EVフェスティバル。我が校のトヨタスポーツEVツインは、自走できない状態で東自大へと帰ってきた。モーターの破損。60分耐久レースが始まってから10分ほどで起きた故障。信じられない思いで実況の声をピットで聞いていた。今回



まさかのトラブル発生！は優勝を狙えたはずだったので、当然のごとく落胆した。しかし、今回のことをキッカケに目標を新たにし、よりクルマの完成度を高めて、再び優勝を狙えるように、これからも部活に励んでいきたい。1級自動車科
竹本 悟

山岳耐久レース～クロスカントリー部～

私は初め、72 Kmの山道を走破する日本山岳耐久レースを舐めて考えていました。真夜中の山道を歩くのは想像以上に不安で、道が間違っていないか常にドキドキした気持ちで走りました。一番辛かった場所は大岳山の登りで、岩場が続き足に疲れがきました。そして、やればやっただけの喜びや達成感があるやつの思いで辿ると言うことがよく着いたゴールは、な分り、とてもいい経験をする事ができました。1級専攻科
廣戸 大輔

